



事業番号	11 12 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部	課・室	リニア整備推進局
		実施期間	S57～	E-mail	linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	人をひきつける快適な県づくり				
総合的に展開する重点政策	3-9 本州中央部広域交流圏の形成				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 ○リニア中央新幹線は、J R 東海が2027年（令和9年）開業を目指し、東京・名古屋間の整備を進めている。 ○郡部の用地取得事務の一部をJ R 東海から受託するとともに、建設工事に関する課題に対して、関係市町村とJ R 東海との調整に取り組んでいる。 ○リニア整備効果を広く県内に波及させるために、伊那谷自治体会議等を通じて地域振興策の検討を進めるとともに、沿線都府県と連携を図りながら地域振興に資する鉄道となるよう取り組んでいる。
	【目指す姿】 ○リニア中央新幹線の建設を推進する。 ○リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させ、地域振興を図る。
	【実施内容】 中央新幹線活用地域振興事業、中央新幹線建設促進事業、中央新幹線用地取得事業

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コス ト	前年度繰越	H30年度	R1年度
								現計予算	64,651	69,559
								合計(A)	64,651	69,559
								うち一般財源	8,875	12,032
								決算額(B)	61,171	64,358
							職員数(人)	13.76	13.76	
成果指標 設定理由	J R 東海から受託した関係5町村（大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町）の用地取得事務の進捗状況を示す指標として、契約率（契約を締結した権利者の割合）を成果指標に設定。									
達成状況 の分析	J R 東海及び関係5町村との連携を密にして用地交渉等を進めた結果、目標を達成した。									

主な取組	1 リニア中央新幹線の建設に伴う調整 ・建設発生土の活用や環境対策等の課題に対して、関係市町村やJ R 東海との間で調整を進めた。 ・地域の意見・要望を踏まえ、「関係市町村長とJ R 東海幹部との意見交換会」（R2.1.14開催）や「知事とJ R 東海社長とのトップ会談」（R2.3.23開催）を通じて、課題への対応等について意見交換を実施。	 <p>知事とJR東海社長とのトップ会談</p>	
	2 リニア中央新幹線の用地取得 ・郡部の用地（本線、変電施設、非常口等）の取得に向け、用地交渉や説明会等を実施。 ・平成27年度から令和元年度末までの用地取得事務の受託期間を、令和3年度末まで延長。		 <p>リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議</p>
	3 リニアを活用した地域振興 ・「リニアバレー構想」（H28.2策定）の実現に向け、知事が座長を務める「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を開催（R1.9.10、R2.3.26）。 ・令和2年3月の同会議において、喫緊に取り組むテーマと主体等を定めた「リニアバレー構想実現プラン基本方針」を決定。		

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	リニア中央新幹線の建設に係る用地取得及び工事等に伴う諸課題（発生土置き場の早期確定、環境対策等）への対応 「リニアバレー構想」の実現に向け、地域の多様な主体（市町村、広域連合、経済界等）と連携した取組の具体化	J R 東海や関係市町村との連携を密にして、地域に寄り添った調整を進めていくとともに、課題解決に向けて、トップ会談等の機会を通じて、地域への丁寧な対応をJ R 東海に要請していく。 本年4月に現地機関に地域振興業務を移管し、体制強化を図ったところであり、今後、関係市町村や経済界等とより密接な連携を図り、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」をもとに、リニア開業を見据えた地域振興の取組を加速化していく。

事業番号	11 12 01	細事業一覧（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業		部局	建設部	課・室	リニア整備推進局

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	中央新幹線活用地域振興事業	3,880 千円	6,949 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	リニア活用基本構想の推進及び伊那谷自治体会議の運営	直接	<ul style="list-style-type: none"> ○山梨・長野・岐阜三県リニアに関する共同研究会を立ち上げ、三県が連携した広域的な二次交通や観光等について検討 ○伊那谷自治体会議を2回開催するとともに、自治体職員等を対象とした勉強会を4回開催
2	リニア駅近郊エリアのまちづくり構想策定事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ○知的対流拠点の事例調査や企業等へのヒアリング、地域の現況等の基礎調査と分析等に加え、検討会（飯田市、下伊那郡北部5町村、広域連合、県）の運営を委託 ○委託調査の結果を踏まえ、検討会にてリニア駅近郊の立地を活かしたまちづくり構想を策定

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	中央新幹線建設促進事業	4,338 千円	4,355 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	中央新幹線建設促進費	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア中央新幹線建設を促進するため、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会へ負担金を支出 【国等への要請活動を2回実施、機運醸成を図るために講演会を1回開催】
2	中央新幹線建設調整費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア中央新幹線の建設工事に伴う関係機関（国、JR東海、市町村等）との調整を実施 【関係市町村長とJR東海幹部との意見交換会を1回開催、知事とJR東海社長とのトップ会談を1回開催】

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	中央新幹線用地取得事業	52,953 千円	53,054 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	中央新幹線用地取得事務事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ○JR東海から関係5町村（大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町）における用地取得事務の一部を受託し、権利者との交渉等を実施 【令和元年度末の契約率：35.3%】
2	中央新幹線用地測量試験事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ○用地取得価格を算定するために、不動産鑑定等を実施